

① 林丈二 著

『ロンドン歩けば・・・』

(東京書籍)

約 20 日のロンドン滞在をイラスト、写真とともに紹介するエッセイ。イラストレーターならではの目線で、マンホールや建物の装飾、ポストなどに注目した写真は、ロンドンの風景を目で見えて楽しめます。

ロンドンといえば、名物になっている赤いバスやチューブの愛称でおなじみの地下鉄での移動が主ですが、歩いて回るからこそ出会う景色や発見もあるのだと気づかせてくれます。

これからイギリスに留学や旅行を考えている方も、既にロンドンへ行ったことのある方も、それぞれ楽しめる一冊です。

293.33-Hay (Y.Y.)

③ ガーネット 著 安藤真雄 訳

『狐になった奥様』

(岩波書店)

突然ですが、自分の大切な人が狐に変身してしまいました。さあ、あなたならどうしますか？ テプリック氏の最愛の妻シルヴィアは憤ましくて上品な女性でしたが、散歩の途中、突如として赤毛の狐に変身してしまいます。夫は、たとえ姿が変わっても、妻を愛しぬこうとします。妻も、狐になった当初の内は、人としての慎みを持っていたのですが、やがて内面まで本物の狐になっていき・・・。

「逃げ隠れはいや。狐として立派に生きるわ。」そんな、土壇場で見せる生への強い意志は、女性ならではのものなのかもしれませんね。

933-Gar (N.T.)



② 棚橋篁峰 監修

『五感で楽しむ中国茶と音楽』

(京都総合研究所)

おいしい中国茶を飲んでリラックスしたいと考えられることもあると思いますが、その時の音楽を考えたことはあるでしょうか。中国茶に合った音楽を聴くと、その時間をより楽しく過ごせるかもしれません。

本書では、緑茶、青茶などの様々な中国茶と、中国茶をおいしく飲むための音楽が解説されています。中国茶と音楽の関係を知り、中国茶文化を満喫しましょう。

596.7-Tan (N.I.)

④ 北原保雄 編著

『続弾! 問題な日本語』

(大修館書店)

本書は前作『問題な日本語』の「第二弾」です。「千円からお預かりします。」は本書の最初に出て来る表現ですが、最近よく指摘されているポイントです。しかし何故変なのか、どうすれば正しい言い方になるのかというのは難しいものです。本書は素朴な「質問」に対する詳しい「答え」、そしてまとめとしての「ポイント」で構成されています。ページの下端には「使うのはどっち?」のコーナーがあり、「行く(いく VS. ゆく)、どっち?」など、つい迷ってしまう事柄を簡潔に説明しています。本書で日本語のビミョーな世界に迷い込んでみませんか?

810.4-Kit-2 (T.F.)